

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成22年8月12日(2010.8.12)

【公開番号】特開2009-115383(P2009-115383A)

【公開日】平成21年5月28日(2009.5.28)

【年通号数】公開・登録公報2009-021

【出願番号】特願2007-288784(P2007-288784)

【国際特許分類】

F 24 F 13/28 (2006.01)

【F I】

F 24 F 1/00 3 7 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月24日(2010.6.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

空気中の塵埃を除去するフィルタを清掃するフィルタ清掃装置であつて、前記フィルタを案内する案内路を有し内部に空気流路を発生する除塵ボックスと、該除塵ボックス内での長さ方向に沿つて配置され、かつ除塵ボックスに回転自在に支持された清掃ブラシと、除塵ボックス内に空気流を発生させる空気流発生手段と、前記フィルタを除塵ボックスに対してその長さ方向と直交する方向に相対的に移動させる移動手段とを備え、前記除塵ボックスの内面形状が前記清掃ブラシの回転形状に合わせて断面円弧状に形成されたことを特徴とするフィルタ清掃装置。

【請求項2】

除塵ボックスが、フィルタを挟んでその表裏両側に夫々配置され、表側の除塵ボックスと裏側の除塵ボックスとの間に形成された隙間がフィルタの案内路とされ、フィルタを挟んだ両側の前記除塵ボックスの内側断面形状が円弧状に形成されたことを特徴とする請求項1に記載のフィルタ清掃装置。

【請求項3】

キャビネットの吸込口から吹出口に至る空気通路に空気中の塵埃を除去するフィルタを備えた空気調節装置において、前記フィルタを清掃する請求項1または2に記載の清掃装置が搭載されたことを特徴とする空気調節装置。